

Ⅱ 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

佐賀大学の求める入学者

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。

佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。

佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。

理工学部

求める学生像

【教育目的と入学後の学習に必要な能力や適性等】

理工学部は、幅広い教養と科学・技術の専門的な素養を持ち、社会の広い分野で活躍できる人材を育成することを目的とします。各学科の教育目的、カリキュラム編成と本カリキュラムに適應するために必要な入学時の能力や適性等、そして入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組みは以下の通りです。

数理科学科

数理科学科では、数学及び数理科学の領域において、広く社会で活躍できる高度な専門的知識・能力を持つ教育者、技術者、研究者となる人材を育成します。そのためのカリキュラム編成と本カリキュラムに適應するために必要な入学時の能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組みは以下の通りです。

カリキュラム編成	カリキュラムに適應するために必要な入学時の能力や適性等
教養教育科目	一般的教養として、自然、文化、社会に関する幅広い科目を履修するために、専門に関する特定の教科や科目だけに留まらない幅広い基本的な知識や考え方を身に付けておくとともに、外国語科目を履修するための基本的な英語の学習力が必要です。 また、現代社会の諸問題との接続を意識した問題発見能力や解決能力を修得するために、現代的な課題や事象に対する興味・関心ばかりでなく、学生同士のグループ学習やプレゼンテーションなどを含むアクティブ・ラーニングを積極的に行っていくための主体的な行動力や学習態度が必要です。
専門科目	数学の思考力、表現力および論理的厳密性を修得するために、高等学校で履修する数学の基礎的理解と応用力が不可欠です。また、講義形式であっても予習や復習などの時間外学習を課すことで知識の定着を図りますので日頃の学習習慣が必要です。
卒業研究	3年次までの学習成果をもとに、数学における諸問題を正確に理解し解決する力を修得することになりますので、3年次までの教育課程で十分に学習できていることが前提となります。なお、卒業研究は少人数形式で行うため、積極的に議論へ参加する態度や、周囲とのコミュニケーションを通じて、学習・研究活動を活性化できるような能力や姿勢を持っていることは有効です。

〈入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〉

数学の概念や論理的厳密性を修得するためには、微分積分、線形代数、集合・位相といった数学の基本的な考え方や手法を身につける必要があります。そのためには、高等学校で履修する数学の基礎的理解と応用力が不可欠です。さらに、自然科学の基本的な概念や原理・法則を理解して科学的な自然観を養っておくことは、学びの視野を広げることに繋がります。そのため、高等学校で学ぶ理科についても教科書レベルの知識を有していることが望まれます。一方、専門科目に限らず、大学では多くのレポートを

書くことが一般的です。レポート作成には、文章の読解力と記述力さらには社会的な常識が必要となります。したがって、高等学校で学ぶ国語や社会の基礎的な学力が必要です。さらに、日本語文献だけでなく英語文献などもセミナー形式で学習しますので、英文の基礎的な読解力だけでなく、自分で辞書等を調べて英文を読みこなす習慣をつけておくことが必要です。

以上に加え、自らの学習活動や取り組み等を通して、周囲の学生にも良い刺激をもたらすことで、本学科の教育・研究活動を活性化できる「主体的に学ぶ態度」を持った学生を歓迎します。

物理科学科

物理科学科では、広範な自然現象を理解する試みを通して、現代の科学技術を支える学力と、柔軟性に富んだ豊かな発想力を培い、広い分野で活躍できる人材を育成します。そのためのカリキュラム編成と本カリキュラムに適應するために必要な入学時の能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組みは以下の通りです。

カリキュラム編成	カリキュラムに適應するために必要な入学時の能力や適性等
教養教育科目	一般的教養として、自然、文化、社会に関する科目を履修するために、専門に関する教科だけに留まらない幅広い関心と基本的な考え方を身に付けておくとともに、英語科目を履修するための基本的な英語の学力が必要です。 また、現代社会の諸問題を見つめ、対応する力を修得するために、現代的な課題や事象に対して、学生同士のグループ学習や、プレゼンテーションなどのアクティブ・ラーニングを進んで行う行動力や学習態度を求めます。
専門科目	物理学の基本的な考え方および論理的厳密性を修得するために、高等学校で履修する物理の基礎的理解と応用力が不可欠です。また、講義形式であっても時間外学習や課題を課すとともに、小テストや中間試験を行うことで知識の定着を図りますので、日頃の学習習慣が必要です。実験・演習等の授業では、グループ学習や実験に関わる作業が中心となるため、主体的な行動力や、他の学生とのコミュニケーション能力が求められます。
卒業研究	3年次までの学習成果をもとに、物理学に関わる諸問題を正確に理解し対処する力を修得するため、3年次までの教育課程が十分に学習できていることが必要です。卒業研究は少人数形式で行うため、積極的に議論や実験に参加する態度、周囲とのコミュニケーションを通じて研究活動を活性化する姿勢が望まれます。

〈入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〉

物理学における基本的な概念や法則を理解するためには、高等学校で履修する物理と数学の基本的事項の理解および計算能力だけでなく、それらの知識に基づく論理的な思考力が求められます。また、実験や観測を通して法則を見出すための洞察力も必要です。さらに、専門的な知識や考え方を修得するためには、海外の文献にも目を通すことが必要であり、高等学校の教科書レベルの英文読解力が求められます。一方、専門科目に限らず大学の講義や演習では、情報の収集、文献読解およびレポートの作成など、情報収集力や文書作成能力が求められるため、高等学校で学ぶ国語や社会の基本的な知識や考え方を修得しておくことが必要です。

以上に加え、自らの学習活動や取り組み等を通して、周囲の学生にも良い刺激をもたらすことで、本学科の教育・研究活動を活性化できる「主体的に学ぶ態度」を持った学生を歓迎します。

知能情報システム学科

知能情報システム学科では、情報科学及び情報工学の学問領域における専門知識・能力及び広い視野を持ち、知識基盤社会を担う人材を育成します。そのためのカリキュラム編成と本カリキュラムに適應するために必要な入学時の能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組みは以下の通りです。

カリキュラム編成	カリキュラムに適應するために必要な入学時の能力や適性等
教養教育科目	一般的教養として、自然、文化、社会に関する幅広い科目を履修するために、専門に関する特定の教科や科目だけに留まらない幅広い基本的な知識や考え方を身に付けておくとともに、外国語科目を履修するための基本的な英語の学習力が必要です。 また、現代社会の諸問題との接続を意識した問題発見能力や解決能力を修得するために、現代的な課題や事象に対する興味・関心ばかりでなく、学生同士のグループ学習やプレゼンテーションなどを含むアクティブ・ラーニングを積極的に行っていくための主体的な行動力や学習態度が必要です。
専門科目	知能情報工学分野の基礎的な知識と技能を修得するために、高等学校で履修する数学の基礎的理解と応用力が不可欠です。また、情報技術分野のプロフェッショナルとして問題を発見・解決する能力を修得するために演習や実験を通してチーム作業や問題解決型学習を行いますので、主体的な行動力や他の学生とのコミュニケーション能力が必要です。
卒業研究	3年次までの学習成果をもとに、原則として学生それぞれが個別の研究テーマを担当し、研究計画の立案から実施・発表会での結果報告・卒業論文の執筆を一貫して行うことで、専門学修の総仕上げとします。そのため、3年次までの教育課程で十分に学習できていることが前提となります。なお、卒業研究は少人数形式で行うため、積極的に議論へ参加する態度や、周囲とのコミュニケーションを通じて学習・研究活動を活性化できるような能力や姿勢を持っていることは有効です。また、文献などから情報を正確に読み取ったり、文章で事実を正確に記述する国語力も必要になります。

〈入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〉

知能情報システム学科では、ITの理論の専門基礎を重点的に教育します。そのため、高等学校で数学及び理科の基礎事項を理解し、教科書レベルの問題を解く能力を求めます。文書作成、口頭発表の能力を育成しますので、国語の学力が重要です。専門文献を読むため及び国際社会で活躍するための語学教育に必要な英語の学力も要求します。また、幅広い文化、自然、社会の素養を修得するために広範な基礎学力も必要です。本学科では、実験科目や卒業研究を通してグループ中での協調性、自主的学習能力、情報収集能力などを育成します。したがって、良識的に行動し、高い学習意欲を持ち、知識の獲得に積極的な学生の入学を望みます。

以上に加え、自らの学習活動や取り組み等を通して、周囲の学生にも良い刺激をもたらすことで、本学科の教育・研究活動を活性化できる「主体的に学ぶ態度」を持った学生を歓迎します。

機能物質化学科

機能物質化学科では、化学を通して継続的に社会に貢献することのできる人材を育成します。そのためのカリキュラム編成と本カリキュラムに適應するために必要な入学時の能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組みは以下の通りです。

カリキュラム編成	カリキュラムに適應するために必要な入学時の能力や適性等
教養教育科目	<p>一般的教養として、自然、文化、社会に関する幅広い科目を履修するために、専門に関する特定の教科や科目だけに留まらない幅広い基本的な知識や考え方を身に付けておくとともに、外国語科目を履修するための基本的な英語の学習力が必要です。</p> <p>また、現代社会の諸問題との接続を意識した問題発見能力や解決能力を修得するために、現代的な課題や事象に対する興味・関心ばかりでなく、学生同士のグループ学習やプレゼンテーションなどを含むアクティブ・ラーニングを積極的に行っていくための主体的な行動力や学習態度が必要です。</p>
専門科目 (物質化学コース)	<p>基礎から応用にわたる化学の幅広い知識を体系的に身に付けていくために、多岐にわたる専門科目の授業が、無機化学、有機化学、物理化学、分析化学、化学工学の5つの分野で構成・配置されています。したがって、高等学校で履修する化学の基礎的理解と応用力が不可欠です。</p> <p>また、化学を通して社会に役立つ能力、および課題解決につながる協調性と指導力を修得するために、演習や実験を通してチーム作業や問題解決型学習を行いますので、主体的な行動力や他の学生とのコミュニケーション能力が必要です。</p>
専門科目 (機能材料化学コース)	<p>基礎から応用にわたる化学の幅広い知識と実践力を身に付けていくために、化学技術者に必要な専門科目の授業が、無機化学、有機化学、物理化学、分析化学、化学工学の5つの分野で構成・配置されています。したがって、高等学校で履修する化学の基礎的理解と応用力が不可欠です。</p> <p>また、化学技術者として課題を発見し解決する能力、および課題解決につながる協調性と指導力を修得するために、演習や実験を通してチーム作業や問題解決型学習を行いますので、主体的な行動力や他の学生とのコミュニケーション能力が必要です。</p>
卒業研究	<p>3年次までの学習成果を踏まえ、指導教員の下、総合的な学習を通して自ら仕事を計画・遂行していく能力を身に付けるために、3年次までの教育課程で十分に学習できていることが前提となります。</p> <p>なお、卒業研究は少数形式で行うため、積極的に議論へ参加する態度や、周囲とのコミュニケーションを通じて、学習・研究活動を活性化できるような能力や姿勢を持っていることは有効です。</p>

〈入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〉

化学は、物質の構造や機能の関係を明らかにするために、様々な物質を詳細に調べ、新しい物質の合成や分解を行います。そのため、既存物質の特性を正確に把握し、必要な仮説と検証実験、そして得られた結果の論理的説明が求められます。このように化学を専門的に学ぶためには、高等学校で学習する化学の基本事項を十分に理解していることが必要です。また、実験等で取得したデータ解析には、計算能力や数学的思考力が求められ、物質の物理的性質や生物的性質を理解するためには物理学や生物学の知識が必要となります。したがって、高等学校で学習する数学、物理および生物の基礎学力は、化学を専門的に理解するためには欠かせないものです。さらに、新しい知識や技術を身につけるためには、外国の文献等にも目を通す必要があり、基礎的な英文読解力が求められます。一方、専門科目に限らず大学の講義や演習では、情報の収集、文献読解およびレポートの作成など、情報収集力や文書作成能力が求められるため、高等学校で学ぶ国語や社会の基本的な知識や考え方を修得しておくことが必要です。

以上に加え、自らの学習活動や取り組み等を通して、周囲の学生にも良い刺激をもたらすことで、本学科の教育・研究活動を活性化できる「主体的に学ぶ態度」を持った学生を歓迎します。

機械システム工学科

機械システム工学科では、機械工学及びその関連の領域において、専門的な基礎知識及びその応用力並びにものづくりの素養を身に付けた技術者となる人材を育成します。そのためのカリキュラム編成と本カリキュラムに適應するために必要な入学時の能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組みは以下の通りです。

カリキュラム編成	カリキュラムに適應するために必要な入学時の能力や適性等
教養教育科目	<p>一般的教養として、自然、文化、社会に関する幅広い科目を履修するために、専門に関する特定の教科や科目だけに留まらない幅広い基本的な知識や考え方を身に付けておくとともに、外国語科目を履修するための基本的な英語の学習力が必要です。</p> <p>また、現代社会の諸問題との接続を意識した問題発見能力や解決能力を修得するために、現代的な課題や事象に対する興味・関心ばかりでなく、学生同士のグループ学習やプレゼンテーションなどを含むアクティブ・ラーニングを積極的に行っていくための主体的な行動力や学習態度が必要です。</p>
専門科目	<p>機械工学に関する基礎的知識、技能を修得するために、高等学校で履修する数学と物理の基礎的理解と応用力が不可欠です。</p> <p>また、企業などが生産現場で抱える課題や、より広範囲なものづくりに関する課題を発見・探求・解決する力を身につけるために、演習や実験などを通して、チーム作業や問題解決型学習を行いますので、主体的な行動力や他の学生とのコミュニケーション能力が必要です。</p>
卒業研究	<p>3年次までの学習成果を踏まえ、指導教員の下、総合的な学習を通して、実社会における諸問題の発見・解決能力を習得するため、3年次までの教育課程で十分に学習できていることが前提となります。なお、卒業研究では、個別に提示される研究課題に対し、専門性の高い研究活動に取り組むので、議論へ積極的に参加する態度や、周囲とのコミュニケーションを通じて、学習・研究活動を活性化できるような能力や姿勢を持っていることは有効です。</p>

〈入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〉

機械工学は、すべてのものづくりに欠かせない技術であり、それを修得するためには、高等学校で学ぶ数学と物理および化学の基本的事項を理解し、教科書レベルの基本問題を解く能力を十分身につけておく必要があります。また、講義を理解して、レポートを作成したり、自分が調べたものを発表するためには、読解力や記述力を中心とする国語能力だけでなく、現代社会の仕組みや歴史、文化など高等学校の社会科で学ぶ一般的な知識も求められます。さらに、英文の読解や作成、外国人とのコミュニケーションなど様々な分野で将来的に活躍するためには、高等学校で学ぶ基礎的な英語力は欠かせないものです。そして、ものづくりを通じた社会への貢献に興味と熱意を持つことを期待します。

上記のことに加え、ものづくりに関連した技能の習得や、国内外で開催される科学技術コンテスト（数学オリンピック、物理オリンピックなど）における活動、外国語（英語）の資格・検定試験を活用した語学力アップへの取り組みといった自らの学習活動や取り組みなどを通して、周囲の学生にも良い刺激をもたらし、本学科の教育・研究活動を活性化できる「主体的に学ぶ態度」を持った学生を歓迎します。

電気電子工学科

電気電子工学科では、電気工学及び電子工学の領域における専門的知識・能力を持ち、社会で活躍できる人材を育成します。そのためのカリキュラム編成と本カリキュラムに適應するために必要な入学時の能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組みは以下の通りです。

カリキュラム編成	カリキュラムに適應するために必要な入学時の能力や適性等
教養教育科目	<p>一般的教養として、自然、文化、社会に関する幅広い科目を履修するために、専門に関する特定の教科や科目だけに留まらない幅広い基本的な知識や考え方を身に付けておくとともに、外国語科目を履修するための基本的な英語の学習力が必要です。</p> <p>また、現代社会の諸問題との接続を意識した問題発見能力や解決能力を修得するために、現代的な課題や事象に対する興味・関心ばかりでなく、学生同士のグループ学習やプレゼンテーションなどを含むアクティブ・ラーニングを積極的に行っていくための主体的な行動力や学習態度が必要です。</p>
専門科目	<p>電気電子工学の分野に対する興味・関心を有していることが必要です。また、電気電子工学分野の基礎的な知識と技能を修得するために、高等学校で履修する数学と物理の基礎的理解と応用力が不可欠です。また、電気電子実験機器の操作、PDCA サイクルの実践的な能力を修得するために演習や実験を通してチーム作業や問題解決型学習を行いますので、主体的な行動力や他の学生とのコミュニケーション能力が必要です。</p>
卒業研究	<p>3年次までの学習成果をもとに、原則として学生それぞれが個別の研究テーマを担当し、研究計画の立案から実施・発表会での結果報告・卒業論文の執筆を一貫して行うことで、専門学修の総仕上げとします。そのため、3年次までの教育課程で十分に学習できていることが前提となります。なお、卒業研究は少人数形式で行うため、積極的に議論へ参加する態度や、周囲とのコミュニケーションを通じて学習・研究活動を活性化できるような能力や姿勢を持っていることは有効です。また、文献などから情報を正確に読み取ったり、文章で事実を正確に記述する国語力も必要になります。</p>

〈入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〉

電気電子工学科に入学した学生は、日本の誇る大企業や九州の有力企業をはじめとする社会の第一線で活躍できるよう、電気電子工学に関連した様々な理数系専門科目を学びます。技術文書を正確に書く練習や、技術英語の修得も行います。そして、それらを駆使して社会に役立つものを創り出す研究活動も行います。そのため、入学時点で、数学、物理、化学などの理数系科目の基礎学力をしっかりと身につけていることが必要です。国語、英語、社会の基本的な知識を学んでいることも必要です。高校等での学習においては、教科書の範囲で解ける標準的な問題を、確実に解けるようにすることを望みます。社会で活躍できることを目指して育成しますので、もの創りへの関心や、エネルギーや環境問題等への興味が必要であり、男女を問わず意欲ある人の入学を望みます。

以上に加え、自らの学習活動や取り組み等を通して、周囲の学生にも良い刺激をもたらすことで、本学科の教育・研究活動を活性化できる「主体的に学ぶ態度」を持った学生を歓迎します。

都市工学科

都市工学科では、都市工学の領域における専門的知識・能力を持ち、社会で活躍できる人材を育成します。そのためのカリキュラム編成と本カリキュラムに適應するために必要な入学時の能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組みは以下の通りです。

カリキュラム編成	カリキュラムに適應するために必要な入学時の能力や適性等
教養教育科目	<p>一般的教養として、自然、文化、社会に関する幅広い科目を履修するために、専門に関する特定の教科や科目だけに留まらない幅広い基本的な知識や考え方を身に付けておくとともに、外国語科目を履修するための基本的な英語の学習力が必要です。</p> <p>また、現代社会の諸問題との接続を意識した問題発見能力や解決能力を修得するために、現代的な課題や事象に対する興味・関心ばかりでなく、学生同士のグループ学習やプレゼンテーションなどを含むアクティブ・ラーニングを積極的に行っていくための主体的な行動力や学習態度が必要です。</p>
専門科目 (都市環境基盤コース)	<p>都市環境基盤に関する基礎的知識、分析力、考察力、安全・安心な社会基盤整備や都市・地域の環境をより一層豊かにする高度な知識・技能を修得するために、高等学校で履修する数学と物理の基礎的理解と応用力が不可欠です。</p> <p>また、地域条件、歴史や文化を踏まえた社会基盤の多面的な役割を理解する力、都市・地域の持続的発展に向けた社会基盤のあり方を提示する力を身に付ける必要がありますので、高等学校で履修する国語、地理、歴史といった幅広い教科や科目の基礎的理解が必要です。</p> <p>さらに、都市環境基盤分野のプロフェッショナルとして課題発見能力および課題解決能力を身に付けるために、演習や実験を通してチーム作業や問題解決型学習を行いますので、主体的な行動力や他の学生とのコミュニケーション能力が必要です。</p>
専門科目 (建築・都市デザインコース)	<p>建築・都市デザインに関する基礎的知識、分析力、考察力、身の回りの居住環境・建築環境の快適性を最適に保つための知識・技能、現代社会に対応した建築・都市空間を計画・設計する能力を修得するために、高等学校で履修する数学と物理の基礎的理解と応用力が不可欠です。</p> <p>また、歴史や文化、人々の生活と関わる建築・都市空間の多様な価値を理解する力、都市・地域の持続的発展に向けた建築・都市空間のあり方を提示する力を身に付ける必要がありますので、高等学校で履修する国語、地理、歴史といった幅広い教科や科目の基礎的理解が必要です。</p> <p>さらに、建築・都市デザイン分野のプロフェッショナルとして課題発見能力および課題解決能力を身に付けるために、演習や実験を通してチーム作業や問題解決型学習を行いますので、主体的な行動力や他の学生とのコミュニケーション能力が必要です。</p>
卒業研究	<p>3年次までの学習成果を踏まえ、各コースの指導教員の下、総合的な学習を通して実社会における諸問題の発見・解決能力を習得するために、3年次までの教育課程で十分に学習できていることが前提となります。</p> <p>なお、卒業研究は少人数形式で行うため、積極的に議論へ参加する態度や、周囲とのコミュニケーションを通じて、学習・研究活動を活性化できるような能力や姿勢を持っていることは有効です。</p>

〈入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〉

都市における交通体系や水・エネルギー供給のライフライン、建築物等のさまざまな社会基盤・施設の整備と安全・安心の確保は非常に重要ですが、同時に自然環境や歴史、風土等との調和も必要です。都市工学科では、都市や地域に関する理解、形態や空間を扱うデザインも学問対象としていますので、様々な社会的現象および文化や歴史についても関心を持つことが求められます。したがって、都市工学科の志願者には、高校で学ぶ数学・物理など自然科学の基礎力、論理的思考を支える国語力、英語で書かれた文献の理解のための英語力、さらに地域の文化や歴史に目を向け得るための社会的な基礎知識などが求められます。

以上に加え、自らの学習活動や取り組み等を通して、周囲の学生にも良い刺激をもたらすことで、本学科の教育・研究活動を活性化できる「主体的に学ぶ態度」を持った学生を歓迎します。

入学者選抜の基本方針

各学部の教育目標・方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とし、以下のような多様な選抜方法と多面的・総合的な評価方法により入学者を選考します。

選抜方法	目的と概要
一般入試	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の入試区分により、入学者を選考します。
特別入試	一般入試では評価が難しい多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象とし、「推薦入試」、「帰国子女」の入試区分により、入学者を選考します。
私費外国人留学生入試	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。
3年次編入学試験	短期大学、専修学校及び高等学校の専攻科の課程の卒業生で、さらに高度な専門教育・研究を希望する入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

入試で評価する入学後の学習に必要な能力や適性等

■理工学部

- ① 高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能と、これらを踏まえた基本的な思考力・判断力
- ② 専門分野を理解するために必要な数学、理科に関する知識・技能と、これらを踏まえた数理的かつ科学的な思考力・判断力・表現力
- ③ 国内に限らずグローバルな視点で情報収集、情報発信できる英語の読解力と表現力
- ④ 志望学科の専門科目と特に関係の深い教科・科目に関する十分な知識・技能と、これらを踏まえた高度な思考力・判断力・表現力
- ⑤ 志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識・技能
- ⑥ 志望学科の専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度
- ⑦ 本学部で学びたいという強い意欲

入学後の学習に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
学力3要素との対応		「知識・技能」「思考力等」				「主体性等」			
選抜方法	前期日程	センター	60	○	○	○	○		
		個別試験	○	33	7	○	○		
	後期日程	センター	60	○	○	○	○		
		個別試験	○	○		40	○		
	推薦入試Ⅰ	小論文	○	○	○		◎		
		面接	○	○	○		◎	◎	
		推薦書	○					○	○
		調査書	○					○	○
	推薦入試Ⅱ	センター	100	○	○	○	○		
		推薦書	○					◎	○
		調査書	○					○	○
	帰国子女	小論文	○	○	○		◎		
		面接		○	○		◎	◎	
		提出書類	◎						

i. 数値は、各入試区分で評価する重み（総合点に対する各配点のウエイト [%]）。

ii. ◎は、点数化はしないが、段階評価するもの（合否、ABC など）

iii. ○は、間接的に評価したり、内容を確認するもの